

一羊会だより

発行
 社会福祉法人一羊会
 事務局 〒663-8241
 西宮市津門大塚町1-47
 電話 (0798) 31-1760
 FAX (0798) 31-1763



2019年4月から武庫川すずかけ作業所では、新しく、就労班が出来ました。
 公園やマンションの清掃を主な作業として、みんなで働いています。

.....

特集

- 事業所紹介 すずかけ第2作業所 3
- 2019年度 一羊会 法人全体研修 4
- 「mokk」すずかけ作業所に木工班ができました 6
- 地域共生ページ・Boleh！ 16



「すずかけ作業所」の移転場所が決まりました

理事長 三浦 昇

この5月に新元号が決まり、令和元年がスタート、新天皇が即位され、日本にとっては大きな節目ともいえる年になりました。

この節目をきっかけに、生活がより良い方向に向かってほしいと皆が願っている一方、現実面ではなかなかいい話題にお目にかかりませんと感じているのは私だけではないと思います。しかしながら、厳しい時代であればこそ気持ちをぶらさないでしっかり問題意識を持って取り組んでまいりたいと思います。

さて、今年度は役員改選の時期に当たり、第205回理事会、第62回評議員会で役員の改選が承認され、第206回理事会で私がもう1期理事長として努めることになりました。

又、栗林和徳理事が退任し、塩谷健介総務部長が新たに理事に就任致しました。

他の理事、監事については留任となり、引き続き一羊会の事業の経営にご尽力いただくことになりました事をまずご報告いたします。

厳しい状況ですが、嬉しいご報告がひとつあります。以前よりお伝えしていました、老朽化した「すずかけ作業所」の移転建て替え計画がようやく動き出しました。

前々市長の頃より西宮市に要望していました案件で、歴史的には1978年、石在町に西宮市立「すずかけ共同作業所」として開設、当時の「西宮市手をつなぐ親の会」（現在の一般社団法人「西宮市手をつなぐ育成会」以下育成会と称します。）の運営で6年、その間第2作業場、第3作業場と開設しながら無認可作業所として

知的しょうがいの人達の高校卒業後の進路確保に育成会として熱い思いで取り組んできていました。この取り組みが評価され、1984年に西宮市のご英断で津門大塚町の消防署職員待機宿舍跡を整備いただき、運営も一羊会の運営で40名の通所授産施設（認可施設）として開設、当時指導員であった私も、大きな感動があったことを覚えています。

あれから35年の年月が経ち、当時青年であった利用者（所員と呼んでいました）も加齢により階段の上り下りも負担になってきていましたが、建物の構造上エレベーターが設置できないまま年月が経ち、建て替え計画の必要性から西宮市に要望を続け、ようやく実現の運びとなりました。

建設予定地は現在の津門大塚町より南方にある今津出在家町になりますが、土地面積も広くなり、勿論エレベーターも付き、利用者の高齢化への対応を踏まえた設計になっています。現在、職員達でプロジェクトチームを作り、その内容等について他の高齢施設、高齢化対応の障害者施設の見学等も行い情報収集をしながらより良い場面づくりに取り組んでくれています。

将来も見据えたハード面の整備という事で費用も当初の5億から6億に膨らみますが、何とか目途を立てながら2020年度末の完成を目指していきます。

引き続き、一羊会の取り組みにご支援、ご協力いただきますようよろしくお願い致します。

事業所紹介 すずかけ第2作業所

すずかけ第2作業所は、就労継続支援B型の利用者23名、生活介護の利用者30名、計53名の利用者が通所しています。西宮浜という少し交通が不便な場所にあり、他事業所の支援員から「西宮のディズニーシー」と言われた事もあります(笑)作業は屋外作業では主に武庫川河川敷の除草作業、屋内作業ではボルトの計数や梱包などを行なっています。屋外屋内どちらの作業も利用者、支援員共に協力して頑張っています。

「ロボットを作りたい！」

これはレクリエーションの行先を決める所員会議での利用者の一言です。

所員会議とは、月初めの土曜開所日の作業前に各グループで行なう会議です。利用者が主体となるように、支援員が司会を行なうのではなく利用者の中から立候補者を募り、司会を決めます。司会を務める利用者は「緊張するわ」と始まる前までは話していますが、実際始まると楽しそうにしている方や普段前に出て話すようなタイプではない方も別人のように他利用者に意見を聞いたり、話を振ったりして生き生きとしています。司会を終えると「上手に出来た。楽しかった!」と話す利用者もおり、達成感を感じている印象を受けます。このように利用者自身が司会を務めることで新しい一面を発見することが多々あります。そして、4月のレクリエーションの行先の希望聴取を行なった際には「水族館」「動物園」など話す方が多い中、ある利用者から「ロボットを作りたい!」という希望が出て、その場にいた支援員はみんな驚きました!ロボットを作れる場所を知っている方がいらしたら是非教えて頂きたいと思います(笑)

「ゆうき喫茶オープン!」

「ゆうき喫茶」とは、作業所の喫茶室で八期会というボランティアの方々が昼休憩の12時から13時までコーヒーや紅茶等を提供してくれています。「ゆうき喫茶」を利用する利用者は各々好きな過ごし方をしています。美味しい淹れたてのコーヒーを飲んでいたり、「美味しい水下さい」とお水を飲んだり、雑誌を読んだり、ボランティアの方と話がしたいがために利用する利用者もいます。また、飲んだ後のコップを下げるウェーターの役割をしてボランティアの方の手伝いを行なう利用者もおり、一人ひとりに合った憩いの場となっています。

作業所生活を送る中で利用者が輝ける場は作業以外にも多くあり、利用者一人ひとりが様々な場面でキラリと輝けるように私も日々精進していきたいと思っています。

すずかけ第2作業所 井上舞



2019年度
一羊会法人全体研修

桜のまだ残る4月13日、一羊会では今年度も法人職員が集まって年度初めの研修会が行われました。

午前中は、株式会社ナースハート代表取締役の井上泰世様をお招きして「コーチングで自己実現!」というタイトルで講義をしていただきました。

コーチングとは、“相手のヤル気を引き出し、自発的な行動を促すコミュニケーション・スキル”です。

職員達は様々な形式のグループワークを重ねながら、実践的なコーチングの手法を学びました。他者とコミュニケーションをとる上で大切なこと、基本的なことを、普段の自分の姿勢を見直しながら振り返る機会ともなり、とても有意義な学びの時間となりました。

午後には職員達が複数の班に分かれてのグループディスカッションが行われました。日々、利用者さん達と携わる中で不意にほっこりしたり、思わず微笑んでしまったりしたエピソード（ニヤリホットといいます）を話し合ったり、それぞれが利用者支援の中で心がけている事や深めたいことなどを持ち寄って話し合ったりと、事業所や業務の違いを超えて、普段中々話す機会のない職員とじっくり話をすることが出来ました。

最後には、これも恒例の行事となりつつある「事業所対抗クイズ大会」が行われ、各事業所から選抜された職員達が景品のフルーツをかけて今年も火花を散らしました。

白熱の早押しバトルの末に早抜けしていくチームもいる中、会場を笑い渦に巻き込むような爆笑珍解答も飛び出し、大いなる盛り上がりの中で、今年度も法人全体研修は幕を閉じました。

真剣に聞き、和やかに話し合い、盛り上がる時にはみんなで大笑いをする、そんなメリハリの効いた1日の研修を終えて、職員一同、気持ちを新たにしまだ日々の仕事へと戻ることができたと思います。



法人全体研修を終えて

今年の一羊会全体研修ではグループディスカッションで普段話した事のない経験豊富な職員さん方と一緒に考える場を提供して頂いた事が印象に残っています。ニヤリホットの話題で私は担当する利用者さんの話をさせて頂きました。その方は自分のやりたい事の訴えをあまりしない方で、さらにガイドへ出掛ける前など待ちきれずに玄関で長時間座り込んでしまうなど「待つ」事が苦手な方でした。ある日その方がたまたま「時代劇の殺陣」を観ていると今まで見た事のない喜びようで声を出し前のめりで夢中になっていました。それを目の当たりし、動画に対してこんなに興味があるとは想像がつかず知らなかった一面を発見出

ジョイントホーム事業課 魚田 勇次

来た事に大変驚きを覚えた事を今でも鮮明に覚えています。その利用者さんはこの事を機に、好みの動画を楽しみながら待つ事が出来るようになりました。そして一緒に時代劇を観ていた私に対しても好意を持ってくださり今でも楽しい時間を過ごしています。この話をきっかけにグループワークでは他の職員さんとの距離が縮まり良い時間を共有する事が出来ました。

これからもこの研修での経験を忘れず、多くの方との出会いを大切にしていきたいと思います。また出会いを通じて新たなニヤリホットに巡り会っていったら嬉しいです。



「mokk」

すずかけ作業所に木工班ができました

文章と写真／広報部 神田浩平

すずかけ作業所の3階にあがると、時折、木を削るような音が聞えてくることがあります。そんな時は、その音がする1室を覗いてみてください。心地よい木の匂いの中で、利用者の方々と職員が一緒になってなにか面白いものを作っていますよ。



治具※を使ってノコギリで板を切る西面さん

※「治具」とは…加工や組み立ての際、部品や工具の作業位置を指示・誘導するために用いる器具の総称。



すずかけ作業所に新しく出来た木工班の名前は、「mokk」といいます。立ち上げに関わった職員の頭文字をとって「mokk」
 ロゴのデザインも職員自ら行ったそう。手仕事と木を連想させる素敵なデザインですよね。

mokkの商品を少しだけ紹介



インテリアの棚としても使える
ガーデニングチェア



メモスタンドなどに使えるキューブクリップ





やすりがけをする松本さん（左）と田中さん（右）。2人ともこの作業がお気に入りなのでそうです。



職員が木を切りだすと、すぐにサポートに駆けつけていた安田さん。真剣な眼差しです。



とても集中した様子で作業に没頭されていたみなさんの表情、一息ついた時に見られる穏やかな笑顔からは、木に触れる作業の面白さが存分に伝わってきました。

「今後、mokkで何か作りたいものはありますか？」と利用者の西面さんに尋ねたところ、「椅子」とささやくように答えてくれました。木工作業をする時に腰掛ける椅子が作りたいのだそうです。他の利用者の方々も、作りたいものをあれこれ思案されているようでした。みなさんの作りたかったものが完成した時、またここで紹介させて頂きたいと思います。





2019年度 一羊会事業計画

基本理念

「一羊会は誰のためにあるのか」をいつも考え、「しょうがい」のある人たちの願いやおもいを大切にします。

また、ひとりひとりがその人らしく社会の中で生きていくことができるための取り組みを進めます。

1. 住み慣れた地域の中であたりまえに働き、活動し、いきいきと暮らせることをめざします。
2. ひとりの人間として大切にされ、自分で決めることが尊重されるような支援をめざします。
3. 地域の方と協力し、みんなが安心して暮らせる地域づくりをめざします。

基本方針

- I しょうがい福祉分野のパイオニアとして、新しい時代、ニーズに対応していくことを目指します。
- II 就労や日中活動支援をより充実させ、地域のニーズに対応できる支援体制の整備を図ります。
- III 地域生活移行支援の取り組み等、地域生活支援をより充実させていくための事業展開と運営体制の確立を目指します。
- IV 医療機関等他の社会資源との連携を密にし、高齢化問題に対応できる支援体制を目指します。
- V 適切な支援が行える人材を確保・養成し、支援の質の向上を図り、法人全体のサービスの充実を目指します。
- VI 新しい時代に対応した組織運営体制を確立し、財務規律のさらなる強化を図り、公正で安定した経営を目指します。
- VII 地震や津波などの自然災害時に備えた危機管理体制を確立し、また個人情報などのコンプライアンスに更に努めます。

福祉を取り巻く状況は年々厳しくなっています。高齢者人口の増加による福祉予算が増大しておりますが、障害分野についても利用者数、事業所数が年々増えており、障害関係の福祉予算も10年間で2倍以上の伸びとなっています。そういった国の財源不足により3年に一度の報酬改定については近年厳しい状況が続いており、各法人の経営を徐々に圧迫している状況です。

2019年度は諸々の逆風に堪えうる経営基盤の強化の為、専門的な外部機関との繋がりを強め、情報収集に努め、経営全般についての改善を進めていきます。

一方で法人事業の状況については、社会全般の労働人口減少や福祉事業所の増加の影響により、予定通りの人材確保が進められておりません。さらにここ数年は法人の離職率も上がってきており、事業展開はもとより、現在実施している事業についても厳しい運営状況が続いています。現場の支援員の配置は予定通り進まず、それに伴い役職者の兼務体制の解消も進んでいません。

今後、地域のニーズに応じていく為にも、まずは体制の立て直しが必要であり、重点目標としては「人材確保」の引き続きの強化と「人材定着」の取り組み検討です。

一羊会の基本理念は言い換えれば「しょうがい」のある人たちの権利擁護と生活の質の向上です。各事業では利用者の生活の質の向上を引き続き目指すために、支援員の支援力向上を図り、支援の質の向上を進めていきます。それは対極となる虐待という権利侵害の撲滅に繋げていきます。

2019年度は第4次マスタープランの最終年であり、第5次マスタープランの策定の年でもあります。第4次での反省を踏まえ、実行可能な計画づくりを目指します。

1. 運営方針

第4次マスタープラン（2015～2019）の目標達成に向け、取り組んでいきます。

2. 目標

(1)経営管理

①組織管理

組織管理体制については引き続き、実行機能を高める為に兼務解消を進めていきます。2019年度は3名の主任を課長に昇格させ管理者として配置し、部長の兼務体制の緩和を図っていきます。

監事会については2018年度の活動を踏まえ、引き続き法人のチェック機能としての役割を果たしていただけるよう協力して進めていきます。

②財務管理

着工が延期されているすずかけ作業所移転建替工事については、2019年度着工、2020年度完成の予定で資金計画していきます。5億円規模の大きな工事であり、予定の自己資金は確保していますが、補助金が未確定のため、その動向を見ながらの資金運用が必要となります。各事業所の修繕、職員の処遇改善等、全体の事業展開にも十分に資金を確保し、安定した運営ができるように、借入金設定や積立金計画、適正な支出等、法人全体の資金管理に取り組んでいきます。各事業所に本部から定期的に巡回し、経営状況把握、各課長の事業運営能力の向上と本部での会計コントロールも進めていきます。

また、当会の管理する他団体の会計や各種預り金の扱いについては、前年度改善内容を継続し、引き続き本部把握していきます。公認会計士等外部の専門家も継続して活用し、指摘・指導を受けた事項に対する改善を進め、

財務規律強化に向けて取り組みます。

③人材確保

2019年度4月の採用は新卒8名、中途1名の9名です。別途人材派遣も活用し、各事業所への配置を進めていきます。一羊会のホームページを軸とした採用戦略については一定の成果を上げています。しかしながら南部、北部のグループホームの人材確保については課題として残っています。2018年度の取り組みをさらに前に進めていくと共に、新たに本部に人材確保推進室を設置、北部に分室を設置し、計画的により事業や地域の特性にあった人材確保策を検討し進めていきます。

一羊会の離職率も徐々に高くなってきており、人材確保だけでなく人材定着にも力を入れて進めていく必要があります。長く安心して働ける職場づくりを目指します。2019年度は、人材定着についてのコンサルティングを導入し進めていきます。

働いてみたい職場、働き続けたい職場づくりの一環として2019年度より休日数を97日から100日に増やします。

④広報活動

2018年2月に全面リニューアルしたホームページは外部評価も高く、一定の効果が上がっています。今後もさらに一羊会の魅力をアピールするためにパワーアップしていきます。広報誌については、既存の一羊会だよりの他に、外部の地域や学生にターゲットをしぼって、利用者の魅力をアピールするために写真を多く使用する広報誌を発行します。

⑤サービス管理

各事業所の利用者支援の質の向上に向けて、以下のことを実施します。

ア) 就労系事業は毎年度同様、作業確保と作業収入増を目的に行政に対して「優先発注」の維持・拡大の要望を行ないます。就労継続支援事業B型は、就労システム検討会で議論を進めてきた工賃(約¥30,000/月)を目標とし、作業量・収入・体制等を総合的に勘案して事業所間の作業調整を行い、目標工賃達成を目指します。就労継続支援事業A型は、利用者増に向けた仕組みを検討します。法人内で歴史と実績のある製菓作業と縫製作業については、当該事業所において適性のある利用者を広く募り、体制等の検討を行い作業の継続と発展を目指します。

イ) 生活支援では高齢化対策を法人として大きな課題として位置づけていて引き続き高齢化アセスメントの実施や嚙下の機能低下に伴う食事の形態の研究を継続していきます。2019年度は介護保険事業所への施設見学や実習を通して、知識と介助方法などを学び、今後の対応の準備と情報の共有を進めていきます。法人として看護師・OT・PT・STなどの医療系専門職の配置をさらに進め、身体的な変化へのアプローチを医療職と実施していきます。

ウ) 法人全体として支援力向上のために、外部研修へ積極的に参加し、法人内外の研修を有効に活用して根拠ある支援を利用者に提供していきます。自閉症については引き続き外部よりスーパーバイザーを招き専門性の高いコンサルテーションを行っていき、質の高い支援を提供していきます。また、サービス管理責任者を中心として支援会議を行い、支援の方向性を確認して日常の利用者支援を行っていきます。

エ) サービス向上部会

各事業所のサービス管理責任者が集まり、事例研究やグループワーク等を行うことで、サービス管理責任者が幅広い支援の視点と支援技術を獲得していくことを目指します。サービス管理責任者は、部会で得た内容を現場職員に伝えていくことで、各事業所がより質の高いサービスを提供できるようにします。また、「利用者支援の自己評価」を行なうことで、法人内各事業所の強みや課題を確認し、課題については改善を図っていくことで、より良いサービス提供ができるように努めていきます。

オ) リスクマネジメント部会

事故情報の共有(特に車両事故防止に努めます)、事故防止啓発を各事業所に促し、再発防止に努めます。具体的には、事故要因分析の演習を実施し、演習を引き続き行うことで、各事業所の現場レベルで要因分析を基に再発防止策を策定できるようにします。感染症予防については、予防方法、感染症発生時の対応方法の周知を図ります。また情報共有の方法を定めます。

緊急時、災害時対策については、避難訓練・応急救護研修・消防設備点検を実施します。また防火管理者分科会で情報共有も実施します。

カ) 権利擁護部会

サービス自己評価は各事業所年1回実施します。また、行動規範評価については各事業所年2回実施します。これらの取り組みを通じて、特に虐待防止の視点から職員の倫理観の確認、意識の向上を図ります。

⑥危機管理

近年の地震、台風等の災害に備え、災害時マニュアルの確認を行うとともに、合わせて備蓄の確認等も行います。また、感染症についてもマニュアルの確認を行い、感染、拡大につながらないように備えます。セキュリティに関しては防犯カメラの運用マニュアル作成等を検討するとともに、対策を引き続き検証していきます。

(2)事業展開

①北部事業展開について

法人全体の人材確保の状況により延期とします。再開に向けての議論を進めていきます。

②南部事業展開について

〈すずかけ移転建て替えについて〉

すずかけ移転建て替えについては市有地を移転先とし、2019年度着工で2020年度完成を目指し国庫補助申請を行っています。入札に向けて本図面作りを進めていき、高齢化に配慮したハード面を備えた施設になるように法人の移転建て替え準備室とすずかけ作業所内の移転建て替えプロジェクトと連動してスピード感を持って進めていきます。

③南部におけるホーム展開

元浜ホームの事業を2019年6月目途に開始します。利用者はまず今運営しているホームの再編をベースに進めていき、空室が出たホームに段階的に新規の利用者入居を進めていきます。

(3)アート活動の推進

「すずかけ絵画クラブ」を「アートスペースひとの森」運営から一羊会運営に移管し、引き続き利用者のアート性を大事にした事業を実施していきます。「あとリエすずかけ」では利用者のアート表現を活かした商品制作を行ない販売もしていきます。そして、その商品の売りに応じた適正な工賃支給システムを作ります。また、あとリエは、商品制作を行なわない利用者にも「表現活動をする」という大事な場の提供もしていきます。その他、あとリエ主催の雑貨展、写生会などを実施します。

(4)障害児療育等支援事業

「施設一般指導事業」では、法人外の事業所向け研修会の開催、他法人の事業所に法人の職員を派遣し必要な助言や指導を行ったりして、地域での支援の質の向上を図ります。個別の利用者の相談については「在宅支援訪問療育等指導事業」として法人の職員を派遣し、支援の組み立てを行います。

西宮市の障害児通所支援の事業所連絡会の研修会の企画、運営に協力してきました。引き続き市内各事業所の支援の質の向上に努めていきます。

(5)実践発表会の開催

2018年度は、今までの内容を振り返り、目的を今一度確認する準備の年としました。実践発表は、外部の方に法人の活動内容を知ってもらえること、発表する職員にとってもよい経験の場となっていること、また、法人内の職員にとっては法人の事を知れる機会となっていることを改めて認識できたので、2019年度は秋以降の開催を計画しています。多くの方に参加していただくために、ホームページ等を活用し広報活動を進めていきます。

(6)地域イベントへの参加

市内及び市外の各地域、各団体のイベントにて各事業所の自主製品を販売していきます。十日戎、にしのみや市民まつり、ふれあいネットワークフェスティバル、輪イ和イ広場等、しょうがいがある人たちへの理解をすすめる啓発イベント等への参加や出店を継続して実施します。

(7)地域連携

福祉の情勢も変化していき、「我が事・まる事の地域共生社会づくり」を国が掲げ、社会福祉法人については積極的な活動を求めています。西宮市でも社会福祉協議会を中心に2019年度の夏までに社会福祉法人連絡協議会の立ち上げを進めています。一羊会は2018年度からその準備会に参加しており、引き続き協力体制をとって進めていきます。

2018年度西宮市から福祉避難所指定の依頼がありました。避難所として条件を満たしている、一羊園、武庫川すずかけ作業所、すずかけ労働センター、すずかけ第2作業所について指定を受け、災害時の貢献をしていきます。

地域における課題や制度の課題については2019年度も継続して西宮市障害福祉推進計画策定委員会、西宮市障害者施策推進懇談会、自立支援協議会への参加を通じて提案し、議論をしていきます。

また、課題毎に関連する団体と連携して解決にあたっていきます。

＜参加及び連携している団体＞

市内	市外
西宮市障害福祉推進計画策定委員会 西宮市障害者施策推進懇談会 西宮市こども未来センター運営審議会 自立支援協議会運営委員会、事務局会議、各部会 ジョブステーション西宮 西宮ふれあいネットワーク 西宮市児童通所支援事業所連絡会 西宮商工会議所 西宮青年会議所 西宮市社会福祉協議会 西宮市手をつなぐ育成会	兵庫県知的障害者施設協会 近畿地区知的障害者施設協会 きょうされん兵庫支部 兵庫県社会就労センター 近畿社会就労センター NPO法人兵庫セルフセンター

2018年度 法人単位資金収支計算書

自 2018年4月1日 至 2019年3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	就労支援事業収入	142,679,220	145,204,005	-2,524,785	
	障害福祉サービス等事業収入	1,248,174,541	1,250,258,019	-2,083,478	
	経常経費寄附金収入	1,713,720	2,019,720	-306,000	
	受取利息配当金収入	40,292	42,503	-2,211	
	その他の収入	16,735,554	16,334,878	400,676	
	事業活動収入計(1)	1,409,343,327	1,413,859,125	-4,515,798	
	支出				
	人件費支出	907,991,191	903,105,725	4,885,466	
	事業費支出	140,879,525	136,706,654	4,172,871	
事務費支出	150,476,251	147,240,346	3,235,905		
就労支援事業支出	143,122,561	144,583,568	-1,461,007		
支払利息支出	150,000	135,855	14,145		
その他の支出	8,231,000	8,005,728	225,272		
事業活動支出計(2)	1,350,850,528	1,339,777,876	11,072,652		
事業活動資金収支差額(3) = (1) - (2)	58,492,799	74,081,249	-15,588,450		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等補助金収入	720,000	838,800	-118,800	
	施設整備等寄附金収入	5,438,080	3,319,280	2,118,800	
	施設整備等収入計(4)	6,158,080	4,158,080	2,000,000	
	支出				
	設備資金借入金元金償還支出	2,052,000	2,052,000	0	
固定資産取得支出	28,314,280	28,314,280	0		
固定資産除却・廃棄支出	0	0	0		
施設整備等支出計(5)	30,366,280	30,366,280	0		
施設整備等資金収支差額(6) = (4) - (5)	-24,208,200	-26,208,200	2,000,000		
その他の活動による収支	収入				
	積立資産取崩収入	19,000,000	19,000,000	0	
	その他の活動による収入	8,531,894	8,550,261	-18,367	
	その他の活動収入計(7)	27,531,894	27,550,261	-18,367	
	支出				
	積立資産支出	41,410,000	48,149,591	-6,739,591	
	退職給付引当資産支出	11,480,000	11,469,591	10,409	
	施設整備等積立資産積立支出	23,500,000	27,500,000	-4,000,000	
	修繕費積立資産積立支出	3,000,000	4,000,000	-1,000,000	
	工賃変動積立資産積立支出	2,940,000	2,240,000	700,000	
設備等整備積立資産積立支出	2,750,000	2,940,000	-190,000		
その他の活動による支出	0	0	0		
その他の活動支出計(8)	41,410,000	48,149,591	-6,739,591		
その他の活動資金収支差額(9) = (7) - (8)	-13,878,106	-20,599,330	6,721,224		
予備費支出(10)	0	0	0		
当期資金収支差額合計(11) = (3) + (6) + (9) - (10)	20,406,493	27,273,719	-6,867,226		
前期末支払資金残高(12)	506,534,404	506,534,404	0		
当期末支払資金残高(11) + (12)	526,940,897	533,808,123	-6,867,226		

2018年度 法人単位事業活動計算書

自 2018年4月1日 至 2019年3月31日

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	就労支援事業収益	145,204,005	130,492,969	14,711,036
	障害福祉サービス等事業収益	1,250,258,019	1,242,998,650	7,259,369
	経常経費寄附金収益	2,019,720	24,117,943	-22,098,223
	サービス活動収益計(1)	1,397,481,744	1,397,609,562	-127,818
	費用			
	人件費	912,443,717	892,831,287	19,612,430
	事業費	137,043,614	135,316,427	1,727,187
	事務費	147,240,346	147,454,507	-214,161
	就労支援事業費用	147,284,696	136,955,132	10,329,564
減価償却費	67,897,168	67,677,405	219,763	
国庫補助金等特別積立金取崩額	-32,733,362	-33,760,052	1,026,690	
サービス活動費用計(2)	1,379,176,179	1,346,474,706	32,701,473	
サービス活動増減差額(3) = (1) - (2)	18,305,565	51,134,856	-32,829,291	
サービス活動外増減の部	収益			
	受取利息配当金収益	42,503	36,079	6,424
	その他のサービス活動外収益	20,136,724	24,522,457	-4,385,733
	サービス活動外収益計(4)	20,179,227	24,558,536	-4,379,309
	費用			
支払利息	135,855	150,219	-14,364	
その他のサービス活動外費用	9,211,081	10,820,893	-1,609,812	
サービス活動外費用計(5)	9,346,936	10,971,112	-1,624,176	
サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5)	10,832,291	13,587,424	-2,755,133	
経常増減差額(7) = (3) + (6)	29,137,856	64,722,280	-35,584,424	
特別増減の部	収益			
	施設整備等補助金収益	838,800	4,879,000	-4,040,200
	施設整備等寄附金収益	3,319,280	170,000	3,149,280
	固定資産売却益	0	9,999	-9,999
	その他の特別収益	0	0	0
	特別収益計(8)	4,158,080	5,058,999	-900,919
	費用			
	固定資産売却損・処分損	5	93,189,665	-93,189,660
	国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	-4	0	-4
	国庫補助金等特別積立金積立額	179,280	4,149,002	-3,969,722
特別費用計(9)	179,281	97,338,667	-97,159,386	
特別増減差額(10) = (8) - (9)	3,978,799	-92,279,668	96,258,467	
当期活動増減差額(11) = (7) + (10)	33,116,655	-27,557,388	60,674,043	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	1,028,713,214	1,085,770,602	-57,057,388
	当期末繰越活動増減差額(13) = (11) + (12)	1,061,829,869	1,058,213,214	3,616,655
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	19,000,000	0	19,000,000
	その他の積立金積立額(16)	36,680,000	29,500,000	7,180,000
	次期繰越活動増減差額(17) = (13) + (14) + (15) - (16)	1,044,149,869	1,028,713,214	15,436,655

法人単位貸借対照表

2019年3月31日現在

(単位:円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
科 目	当年度末	前年度末	増 減	科 目	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	595,895,122	569,782,203	26,112,919	流動負債	100,570,917	100,020,327	550,590
現金預金	351,643,747	333,924,379	17,719,368	事業未払金	54,905,793	51,161,981	3,743,812
事業未収金	214,380,567	207,053,442	7,327,125	1年以内返済予定設備資金借入金	2,052,000	2,052,000	0
未収金	0	0	0	未払費用	17,432	0	17,432
未収補助金	6,693,096	8,907,706	-2,214,610	預り金	3,001,854	7,506,346	-4,504,492
商品・製品	1,223,957	1,690,469	-466,512	職員預り金	33,838	0	33,838
仕掛品	51,608	46,048	5,560	賞与引当金	40,560,000	39,300,000	1,260,000
原材料	2,515,557	2,505,995	9,562	固定負債	141,823,899	135,243,907	6,579,992
立替金	786,776	544,653	242,123	設備資金借入金	16,245,000	18,297,000	-2,052,000
前払金	10,061,618	6,977,127	3,084,491	退職給付引当金	125,578,899	116,946,907	8,631,992
前払費用	828,490	1,272,824	-444,334	負債の部合計	242,394,816	235,264,234	7,130,582
仮払消費税等	7,332,300	6,522,600	809,700				
仮払金	40,446	0	40,446				
1年内長期前払費用	336,960	336,960	0				
固定資産	1,718,481,639	1,736,976,084	-18,494,445				
基本財産	1,102,959,427	1,152,652,835	-49,693,408				
土地	307,703,100	307,703,100	0				
建物	795,256,327	844,949,735	-49,693,408				
その他の固定資産	615,522,212	584,323,249	31,198,963				
土地	31,725	31,725	0				
建物	46,214,136	27,478,926	18,735,210				
構築物	44,915,184	51,045,447	-6,130,263				
機械及び装置	349,647	606,142	-256,495				
車輦運搬具	1,383,530	2,504,587	-1,121,057				
器具及び備品	31,187,160	33,416,950	-2,229,790				
建設仮勘定	6,156,000	6,156,000	0				
権利	6,151,999	6,773,264	-621,265				
ソフトウェア	47,883	78,123	-30,240				
退職給付引当資産	99,062,628	93,552,805	5,509,823				
差入保証金	21,257,000	21,257,000	0				
長期前払費用	1,516,320	1,853,280	-336,960				
施設整備等積立資産	225,000,000	197,500,000	27,500,000				
工賃変動積立資産	18,090,000	15,850,000	2,240,000				
設備等整備積立資産	35,759,000	32,819,000	2,940,000				
人件費積立資産	2,000,000	6,000,000	-4,000,000				
修繕積立資産	49,900,000	60,900,000	-11,000,000				
備品積立資産	26,500,000	26,500,000	0				
資産の部合計	2,314,376,761	2,306,758,287	7,618,474				
				基本金	259,316,507	259,316,507	0
				国庫補助金等特別積立金	411,266,569	443,895,332	-32,628,763
				その他の積立金	357,249,000	339,569,000	17,680,000
				施設整備等積立金	225,000,000	197,500,000	27,500,000
				人件費積立金	2,000,000	6,000,000	-4,000,000
				修繕積立金	49,900,000	60,900,000	-11,000,000
				備品等購入積立金	26,500,000	26,500,000	0
				工賃変動積立金	18,090,000	15,850,000	2,240,000
				設備等整備積立金	35,759,000	32,819,000	2,940,000
				次期繰越活動増減差額	1,044,149,869	1,028,713,214	15,436,655
				(うち当期活動増減差額)	33,116,655	-27,557,388	60,674,043
				純資産の部合計	2,071,981,945	2,071,494,053	487,892
				負債及び純資産の部合計	2,314,376,761	2,306,758,287	7,618,474

2019年度 資金収支予算書

(自) 2019年4月1日 (至) 2020年3月31日

(単位:円)

勘 定 科 目		2019年度予算額	2018年度予算額	増 減 額	備 考
事業活動による収支	収入				
	就労支援事業収入	141,905,100	142,679,220	-774,120	
	障害福祉サービス等事業収入	1,248,875,924	1,248,174,541	701,383	
	経常経費寄附金収入	1,645,000	1,713,720	-68,720	
	受取利息配当金収入	40,292	40,292	0	
	その他の収入	15,291,500	16,735,554	-1,444,054	
	事業活動収入計 (1)	1,407,757,816	1,409,343,327	-1,585,511	
支出	人件費支出	956,302,845	907,991,191	48,311,654	
	事業費支出	141,399,339	140,879,525	519,814	
	事務費支出	160,406,394	150,476,251	9,930,143	
	就労支援事業支出	143,196,833	143,122,561	74,272	
	支払利息支出	150,000	150,000	0	
	その他の支出	8,314,000	8,231,000	83,000	
	事業活動支出計 (2)	1,409,769,411	1,350,850,528	58,918,883	
事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)	-2,011,595	58,492,799	-60,504,394		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等補助金収入	0	720,000	-720,000	
	施設整備等寄附金収入	2,000,000	5,438,080	-3,438,080	
	施設整備等収入計 (4)	2,000,000	6,158,080	-4,158,080	
	支出				
設備資金借入金元金償還支出	2,052,000	2,052,000	0		
固定資産取得支出	89,461,200	28,314,280	61,146,920		
施設整備等支出計 (5)	91,513,200	30,366,280	61,146,920		
施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)	-89,513,200	-24,208,200	-65,305,000		
その他の活動による収支	収入				
	積立資産取崩収入	0	19,000,000	-19,000,000	
	その他の活動による収入	0	8,531,894	-8,531,894	
	その他の活動収入計 (7)	0	27,531,894	-27,531,894	
	支出				
	積立資産支出	13,746,000	41,410,000	-27,664,000	
	退職給付引当資産支出	11,500,000	11,480,000	20,000	
	施設整備積立資産積立支出	0	23,500,000	-23,500,000	
	修繕積立資産積立支出	0	3,000,000	-3,000,000	
	工賃変動積立資産積立支出	746,000	490,000	256,000	
設備等整備積立資産積立支出	1,500,000	2,940,000	-1,440,000		
その他の活動による支出	0	0	0		
その他の活動支出計 (8)	13,746,000	41,410,000	-27,664,000		
その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)	-13,746,000	-13,878,106	132,106		
予備費支出 (10)	0	0	0		
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)	-105,270,795	20,406,493	-125,677,288		
前期末支払資金残高 (12)	526,940,897	506,534,404	20,406,493		
当期末支払資金残高 (11) + (12)	421,670,102	526,940,897	-105,270,795		

一羊会後援会のページ

ご挨拶

会長 太田 博

いつも一羊会後援会の活動にご支援いただき誠にありがとうございます。

平成から令和に年号が変わり、時代の大きな節目となりました。人々が心を寄せ合い、明日への希望を大切に、いつまでも豊かな心で過ごせる国でありたいものです。

さて、7月2日に開催いたしました一羊会後援会総会にはご多忙の中、多くの皆様にご出席いただき誠にありがとうございました。

この総会において、2018年度の事業報告、決算、役員改選、2019年度事業計画、予算が承認されました。又、2017年に起きた使途不明金問題については概ね終息してはいますが最終的には来年度に持ち越す事をご報告いたします。

特記事項として、

1. これまで長きにわたって取り組んでまいりました西宮十日戎の募金活動を終息し、今後は、募金箱の設置による募金活動方針に変更させていただきます。一羊園が設立されてから「西宮市手をつなぐ育成会」が取り組んで来られた十日戎募金活動を一羊会後援会として引き継いできましたが、会員の年齢も高くなり募金に立つのも大きな負担となる実情を勘案し、街頭募金から募金箱の設置に方針を切り替えさせていただきました。
2. 会費、寄付金をいただいた際に発行しておりました後援会の受領証につきましては、今年度入金分よりゆうちょ払込票の受領証を後援会の受領証にさせていただき、特に希望される方については後援会から受領証を発行させていただく方式に変更させていただきます。

ご理解の程よろしくお願ひ申し上げます。

<2018年度事業報告概要>

管理体制については複数体制で業務を行い、監事監査については中間監査も入れ3回実施致しました。販売事業はカレンダー販売のみを実施しました。2019年1月9日から11日迄の3日間、西宮神社での十日戎街頭募金活動についても例年通り実施致しましたが、ご協力いただける会員の皆様の高齢化もあり、今後について課題を残しました。

<2019年度役員体制について>

2019年度は、2018年度の役員体制をそのまま更新いたしました。

2019年度 後援会役員一覧
(任期：2019年7月2日～2021年 総会開催時迄)

役職名	氏名	現在の役職等
会長	太田 博	関西技術コンサルタント社長
副会長	近藤真由美	西宮市手をつなぐ育成会会長
副会長	三浦 昇	一羊会 理事長
理事	本田 洋子	西宮市手をつなぐ育成会副会長
理事	北本 宝	西宮青年会議所 顧問
監事	長谷 隆行	公認会計士
監事	中谷美津子	西宮市手をつなぐ育成会副会長

<2019年度事業計画概要>

会員の維持拡大を計画の柱とし、現行のリーフレットをリニューアルして広く協力をお願いすると共に、これまで取り組んできた十日戎募金活動を終息し、新たに募金箱の設置による募金活動に変更し一羊会事業所、育成会の協力も得ながら取り組んでまいります。カレンダー販売は今年度も継続して取り組みますのでご協力の程よろしくお願ひ致します。



一羊会後援会総会 (7/2) の様子 勤労会館にて

2019年度収支決算

貸借対照表

2019年3月31日現在

単位：円

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
普通預金 三井住友銀行	959,982	未払金	弁護士費用残金 723,150
普通預金 ゆうちょ銀行	2,546,174		一羊会へ寄付 2,500,000
ゆうちょ銀行 振替口座	149,400		
現金	35,016	当期繰越金	467,422
資産合計	3,690,572	負債・純資産合計	3,690,572

収支計算書

自2018年4月1日 至2019年3月31日

収入の部 単位：円

科目	予算	決算	増減	内訳
会費寄付金収入	2,200,000	1,622,322	△577,678	
会費	1,000,000	838,000	△162,000	
寄付金	1,200,000	784,322	△415,678	
事業収入	700,000	662,519	△37,481	
募金事業	350,000	322,569	△27,431	十日戎募金
販売事業	350,000	339,950	△10,050	カレンダー 販売他
雑収入	2	1,860	1,858	
使途不明金回収収入	3,015,768	0	△3,015,768	
前年度繰越金	1,310,402	1,310,402	0	
収入合計	7,226,172	3,597,103	△3,629,069	

支出の部 単位：円

科目	予算	決算	増減	内訳
事務費	110,000	116,822	6,822	
通信費	25,000	39,416	14,416	郵送料、 切手代
振替手数料	25,000	17,554	△7,446	会費等振替 手数料、 残高証明
印刷費	20,000	47,358	27,358	振替用紙・ 受領証印刷費
会議費	20,000	6,650	△13,350	会議室使用料
消耗品費	10,000	1,572	△8,428	お茶等
雑費	10,000	4,272	△5,728	振込手数料他
事業活動経費	250,000	217,401	△32,599	カレンダー 仕入代金等
寄付金支出	2,500,000	2,500,000	0	一羊会へ寄付
委託料	0	295,458	△295,458	弁護士支払分 に消費税、 諸経費追加
小計	2,860,000	3,129,681	269,681	
当期収支差額	4,366,172	467,422	△3,898,750	
支出合計	7,226,172	3,597,103	△3,629,069	

2019年度 予算

自2019年4月1日 至2020年3月31日

収入の部 単位：円

科目	前年度決算額	本年度予算額	増減	内訳
会費寄付金収入	1,622,322	2,200,000	577,678	
会費	838,000	1,200,000	362,000	
寄付金	784,322	1,000,000	215,678	
事業収入	662,519	750,000	87,481	
募金事業	322,569	350,000	27,431	募金箱設置 による収入
販売事業	339,950	400,000	60,050	カレンダー 販売収入
雑収入	1,860	100	△1,760	預金利息等
前年度繰越金	1,310,402	467,422	△842,980	
収入合計	3,597,103	3,417,522	△179,581	

支出の部 単位：円

科目	前年度決算額	本年度予算額	増減	内訳
事務費	116,822	135,000	18,178	
通信費	39,416	40,000	584	郵送料、 切手代
振替手数料	17,554	25,000	7,446	会費等振替 手数料・ 残高証明
印刷費	47,358	50,000	2,642	リーフレット・ 振替用紙印刷費
会議費	6,650	10,000	3,350	会議室使用料
消耗品費	1,572	5,000	3,428	お茶等
雑費	4,272	5,000	728	振込手数料等
事業活動経費	217,401	300,000	82,599	カレンダー仕入、 募金活動諸経費
寄付金支出	2,500,000	2,500,000	0	一羊会へ寄付
委託料	295,458	0	△295,458	
小計	3,129,681	2,935,000	△194,681	
当期収支差額	467,422	482,522	15,100	
支出合計	3,597,103	3,417,522	△179,581	

いつもご協力・ご支援
ありがとうございます!!

<お知らせ>

今まで発行していましたが一羊会後援会からの受領証は、2019年度より払込取扱票の受領証をもって後援会受領証とさせていただきますのでご理解・ご協力の程よろしくお願いたします。

尚、別に後援会の受領証が必要な場合は事務局までお申し出くださいませ。

法人・事業所御寄付の報告(敬称略・順不同)

2019年1月12日～2019年6月30日

*法人

三浦昇(2件) 匿名 韓国京畿道障害者日中保護施設協会 4件

*一羊園

岡田宏之 河津睦子 北村典子 中島一敏 濱 伸子 山口 苑 石川正史 矢萩祐子 斎藤正市
高野重子 一羊園家族会(3件) 芝 桂子 近藤慶子 天野朗代 川越アキミ 17件

*すずかけ作業所

すずかけ作業所保護者会 佐川周助 2件

*すずかけ労働センター

すずかけ労働センター保護者会 南野道明 光武眞理 西宮グリーン(株) 4件

*武庫川すずかけ作業所

平野(5件) 匿名 6件

*ジョイント

古川 勝 匿名(2件) 3件

2018年度一羊会後援会会費(敬称略・順不同)

(2019年1月12日～3月31日)

*法人団体の部

(医)幸泉会高田上谷病院 1件

*個人の部

天野朗代 上谷幸代 高野重子 嶽保広 西川光子 5件

2019年度一羊会後援会会費(敬称略・順不同)

(2019年4月1日～6月30日)

*法人団体の部

(株)関西技術コンサルタント (一財)高友福祉積善会 (株)ヤマムラ
社会保険労務士法人溝口社会保険労務士事務所
すずかけ作業所保護者会 すずかけ第2作業所保護者会 上甲子園すずかけ作業所保護者会 7件

*個人の部

天野朗代 飯森隆年 泉明子 伊藤美洲子 井上尚子 大西勝代 小川 猛 片山寛子 鎌谷泰子
河津睦子 北村典子 柴田美子 篠原正寛 高木博敏 高谷知子 中島忠男 橋本真理 長谷隆行
濱伸子 早川典江 藤井圭子 藤木孝夫 前川拓郎 光武眞里 矢萩裕子 山岡敬子 26件

2018年度一羊会後援会御寄付(敬称略・順不同)

(2019年1月12日～3月31日)

*法人団体の部

(学)神戸女学院 (学)名古屋学院 関西学院高等部 関西学院宗教活動委員会 関西学院中等部生徒一同
日本基督教団関西学院教会 一羊園家族会 7件

*個人の部

森岡宏夫 山中登美子 2件

2019年度一羊会後援会御寄付(敬称略・順不同)

(2019年4月1日～6月30日)

*法人団体の部

サンコウ消毒 (株)ヤマサ環境エンジニアリング (株)ビー・プランニング
社会保険労務士法人溝口社会保険労務士事務所 4件

*個人の部

飯森隆年 井上尚子 大目修平 岡田まり子 片山寛子 鎌谷泰子 神尾ツタエ 河津睦子 黒木真弓
重久隆 善塔勝一郎 高木博敏 高谷知子 中田智恵海 長谷隆行 本田洋子 前川拓郎 万竝建二
山岡敬子 19件

今回から、新企画のページが登場です！その名も「地域共生ページ・Boleh(ボレ)!」。一羊会と外部の方々とのつながりをお知らせする、地域共生を意識した内容にしていきます。より親しみやすいデザインにしようと、今回「わかかさ印刷」さんにこのページのデザインをお願いしました。タイトルの「Boleh」は、マレーシア語で「できる」という意味で、地域の方々と協力してあらゆるものを作り上げていこうという思いが込められています。ですからデザインもそんな感じにしてみました。みなさまご愛読の程よろしく申し上げます。

「マスキングテープを使って作る オリジナルTシャツって?」

6月22日(土)フレンテ西宮のフレンテホールにて、あとりえすずかけが「すずかけの箱」というイベントを開催しました。イベントの目玉となったのはオリジナルTシャツを作るワークショップです。ワイワイと賑やかな雰囲気の中、集まってくれた参加者のみなさんの表情はどなたも真剣そのもの！マスキングテープで隠した模様が浮かびあがるというシンプルな手法ながら、出来上がったTシャツはどれもみなさんの個性が見事に光ったこの世に2つとないオリジナルTシャツです！



今回のイベントを通して、地域の方々や、あとりえすずかけに興味を持ってくださっている方々と繋がれる喜びを改めて実感しました。子どもも大人も、色んな人達が楽しめるボーダーレスなイベントを今後も企画していきたいと思えます！

